

新任医師のご紹介

2025年11月10日付で 繼 真弓子 医師、2026年2月1日付で福永 寛 医師の2名が当クリニックの非常勤医師に加わりました。

繼 真弓子 / Mayuko Tsugu

【メッセージ】

大学卒業後、総合内科での勤務を経て、2010年から循環器内科医として勤務しています。患者さんの話をしっかりと聞いて、一人一人に寄り添った医療を提供することを心がけています。

福永 寛 / Hiroshi Fukunaga

【メッセージ】

2011年に榊原記念病院に入職し循環器診療においてたくさんの経験を積ませていただきました。専門は不整脈分野とくにカテーテルアブレーションを担当しています。なんでもお気軽にご相談ください。

外来日

	月	火	水	木	金	土
午前	●	●		●	●	● 第1.3.(5)
午後			● 第2.4 (5月～)			

外来日

	月	火	水	木	金	土
午前						● 第1

榊原記念病院附属クリニック ※原則予約制です

受付時間(初診の方)：月～金曜 8：30～11：00 13：30～16：00 土曜 8：30～11：00
(再診の方)：月～金曜 8：30～12：00 13：30～16：30 土曜 8：30～12：00

所在地：〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-4
榊原記念ビルディング1～3階

電話番号：0570-00-5277

当院ウェブサイト：<https://sakakibara-heart-cl.jp/>



QRコード



【電車】

京王新線、都営大江戸線、都営新宿線
新宿駅 徒歩2分(6出口)
JR各線、京王線、小田急線
新宿駅 南口 徒歩4分
丸ノ内線
新宿駅 徒歩8分(B14出口)
*A1出口と5出口はエレベーターがあります

【車】

高速道路からアクセス
首都高速4号新宿線 新宿出口 3分
*駐車場はありませんので近隣駐車場をご利用ください



榊原記念病院附属クリニック 広報誌

HEART NAVI

は一となび

第14号

令和8年

4月

編集・発行 | 榊原記念病院附属クリニック広報委員会

渋谷区代々木2-5-4 榊原記念ビルディング1～3階 TEL 0570-00-5277

漢方について

令和7年4月より「漢方専門外来」を担当している張 民浩(ちょう たみひろ)と申します。近年社会の益々の高齢化と複雑化によって、今まで経験したことのない症状や疾患群が増加しており、従来の治療法や発想では対応できないケースも少なくありません。

このような時、長い歴史のある「自然治癒力」を高める東洋医学がいつの時代にも増して脚光を浴びています。

☆そもそも東洋医学とは・・・

東洋医学は、本来人間が持っている自然治癒力を引き出すことで、健康維持や病気の改善を目指す伝統医学です。2000年以上前の古代中国で生まれたもので、その治療法には植物や鉱物、動物などを薬として用いる漢方、経絡や経穴の概念を利用した針灸、按摩や指圧などの手技療法、薬膳や薬草茶などを日常生活に取り入れる養生法などがあります。

☆西洋医学とは・・・

科学の発達とともに著しく進歩を遂げ、ウイルス疾患を始めとする感染症や手術療法を中心としたガン治療、その他循環器疾患に代表される緊急を要する疾病などに成果を上げています。しかしその反面、副作用に対する影響や、検査で異常がはっきり認められないケースには十分な効果が発揮されていないのも事実です。

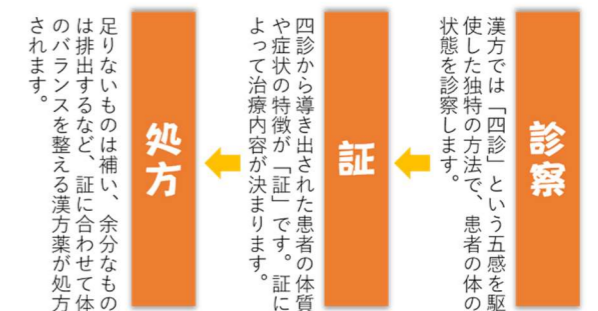


なかいファミリークリニック 院長
張 民浩

元東京女子医科大学附属東洋医学研究所医師
元東海大学医学部東洋医学講座講師

昨今、東洋医学が注目を集めている理由のひとつが、西洋医学では対応出来ない部分を補う医学として期待されているためでもあります。現在文部科学省の指導により、すべての医学生に東洋医学について学ぶことを義務づけられており、今や東洋医学は現代医療に欠かせない存在となりました。

漢方治療の流れ



☆東洋医学と西洋医学の違いとは・・・

西洋医学では、病気の有無を判断する場合、血液や尿検査を実施し、レントゲンを始めとする画像検査を行い、今では遺伝子レベルというマイクロなレベルまで病気の原因を徹底的に調べて、そこから得られた検査結果をもとに治療を実践します。

一方、東洋医学には古来より「未病（みびょう）」という独特な考え方があります。未病とは、病気までとはいかないまでも不調がある状態を指します。例えばだるい、疲れが取れない、体が冷える、よく眠れないなど、検査を受けても異常が認められない状態は、西洋医学では治療の対象にならないことも少なくありません。しかし東洋医学では、「このまま放置すると本格的な病気になる状態」と捉え、治療の対象と致します。既に病的状態に陥った患者さんを治すだけでなく、未然に「防ぐ」ことを重視しています。

さらに東洋医学では、体の複数の部位に不調を訴えている場合や、体と心の両方に不調を訴えている場合など、より効果が発揮されます。西洋医学では、内科、外科、婦人科など専門分野、最近では臓器別というように、病気をピンポイントで捉え治療を行います。一方東洋医学は、体調不良や病気の原因は体のバランスが乱れていると考えているので、そのバランスを調整することで複数の症状や心身の不具合を同時に改善することを目的と致します。東洋医学には内科、外科といった区分けがなく、「心身一如」という言葉があるぐらい、精神と体は常に一体であり、「ミクロ」ではなく「マクロ」、「木を見て森を見る」という意識で治療に当たります。

☆東洋医学のトピックス

西洋医学では1990年頃から「EBM（科学的根拠に基づいた医療）」が重視されるようになりました。それを受けて東洋医学でも科学的に効果を検証しようとする動きが活発です。特に認知症に対する「抑肝散（よっかんさん）」の研究は進んでおり、中でも「レビー小体病」タイプは、内服した方は明らかに症状が改善したと報告されています。

また「釣藤散（ちょうとうさん）」は「脳血管性認知症」タイプの方にやはり効果的と報告されています。

☆循環器疾患への応用

近年、高血圧や心不全、不整脈などに対しても漢方治療は効果を発揮しています。基本的には西洋薬が優先されますが、易疲労感や頭重感、肩こり、動悸、四肢の冷えなど「非特異的」な随伴症状の改善に良い適応となります。また西洋薬の降圧剤や抗不整脈薬の効果は確実ですが、時として出現する副作用などには漢方薬がよい適応と考えられます。

循環器領域で頻用される漢方薬は複数ありますが、心不全に対する「五苓散（ごれいさん）」や高血圧に対する「黄連解毒湯（おうれんげどくとう）」の効果は、現代薬理的にも証明されています。

☆東洋医学の得意とする症状や疾患は・・・

胃腸虚弱や食欲不振などの慢性胃腸障害、めまい、ふらつきや不眠症、自律神経失調症や更年期障害（男性も含む）、肩こり腰痛や慢性疼痛、その他疲れやすい、冷え性など。

当院が専門とする循環器系疾患のみに限らず、幅広く様々な症状に対応が可能です。

勿論すべての症状や不調に東洋医学が有効ではありません。東洋医学では十分対応できないケースも少なくありません。最初に解説したように、あくまでも近年著しく進化した西洋医学を補完する医療として捉えて頂ければ幸いです。

少しでも皆様のQOL（生活の質）を高められるよう、皆様に寄り添った治療を目指しております。

三陰三陽

表裏

虚実

陰陽

寒熱

五臓六腑

気血水

漢方では「虚実」「陰陽」「寒熱」「気血水」「表裏」「三陰三陽（六病位）」「五臓六腑」という七つの“ものさし”に当てはめて患者の状態をとらえ、証を決定します。

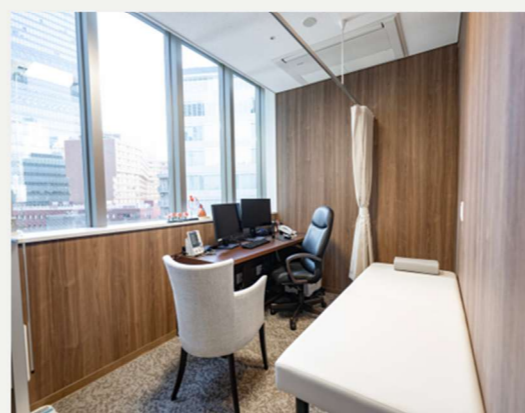


特別診療外来

完全
予約制

当クリニックでは利便性向上および診療体制の充実を図るため特別診療外来を行っています。

患者さんをお待たせせずに、予約時間に一定時間以上の診療を受けられる完全予約制の外来です。専用の診察室と待合室を完備し、プライバシーの確保に注意を払っています。



診療日：第1・3・5週水曜日

診療時間：14：00～16：00

担当医師：井口信雄 院長

予約料 初診：11,000円(税込)

再診：8,800円(税込)

予約窓口、またはお電話にてお申込みください

0570-00-5277

保険診療に加えて、厚生労働大臣の定める選定療養費(特別予約料)が生じます。

健康サポートチームが始まりました

健康サポートチームが2026年2月2日から開始しました

当院では、『健康サポートチーム』が患者さんの健康を総合サポートします。

医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・医療事務にて専門チームを構成しています。

各職種が連携し、専門性を活かしながら食事・運動・服薬などを総合的にサポートいたします。

このような方におすすめです

- ・健康診断で異常値を指摘された
- ・長く薬を飲んでいるが、数値がなかなか改善しない
- ・食事や運動をどう変えたら良いか分からない
- ・自分に合った生活改善を無理なく続けたい
- ・予防の段階から専門家に相談したい



ご興味のある方は、ぜひ職員へお声がけください。